

東急グループ代表 上條清文（東京急行電鉄代表取締役会長）年頭あいさつ【要旨】

東急グループ

1. 日 時 2010年1月4日（火） 9時10分

2. 内 容 東急グループ各社トップに対する年頭あいさつ

3. 要 旨

わが国の経済状況は、景気は足踏み状態となり、不透明感が増してきています。こうした経済状況の中、消費マインドが低調であることに加え、人口動態の急速な変動とそれに伴う消費者のライフスタイルの変化は、人々の生活に密着した事業を経営している東急グループの事業環境に、より厳しさをもたらしているというのは、皆さん一致した認識だと思います。このような逆風下のときこそ、事業戦略の見直しや不況への耐久力を高める事業構造改革を断行し、さらにはグループの連携や結束を強め、将来の成長に向けた礎を築いておかなばならないと、意を新たにしています。

昨年は、グループの総力を挙げて取り組んできた、「持続的成長の基盤」の要となる大規模拠点開発事業のうち、「たまプラーザ テラス」は、10月の「ゲートプラザ3期」のオープンにより、全館開業しました。7月には「東急キャピトルタワー」が竣工し、10月には「ザ・キャピトルホテル 東急」が開業しました。「二子玉川ライズ」は、マンション分譲の契約率が9割を超えており、12月に開業したオフィスも順調な入居状況です。なお、今年3月には「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」が開業します。このほか、人口動態の変動に対応して具現化した、シニア住宅事業やセキュリティ事業、子育てをサポートする事業やサービスなども進展しました。これらが磐石な成長基盤となるよう、お客さまの期待に応え続けるとともに、運営力、収益力も高めてもらいたいと思います。

本年も、成長へのステージに向けた話題があります。渋谷駅周辺再開発事業のリーディングプロジェクトである「渋谷ヒカリエ」は、今年3月には上棟し、中核施設である「東急シアターオーブ」については、夏には柿落とし演目を発表する予定です。東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転は、2012年度の完成に向けて、着実かつ安全に工事を進めてほしいと思います。

これまで「東急キャピトルタワー」の建設に際し、「不易流行」と申してきました。これは、「伝統や歴史を受け継いでいくことはもとより大切ですが、古いものをただ守り続けるだけではなく、そこに現代的な新しさも取り入れ、伝統のさらなる進化にも果敢に挑んでいく精神が肝心である」と皆さんに伝えたかったからです。社会の変化とお客さまが認める価値・望むサービスに応えられるよう、臨機応変さを持つとともに、作り上げた「成長事業」が立派な花を咲かせ、多くの果実を刈り取り続けることができるよう、忍耐力を持って、それぞれの事業価値を高め、新たな伝統を築いていってほしいと思います。

以 上